

2026年度 生産性労使フォーラム IN 北海道

※詳細パンフレットは別途ご案内させていただきます。

■フォーラムのねらい

時代の流れと予測される変化、さらには経営を取り巻く諸課題など労使間に共通するテーマを選定し、道内外の第一人者を講師として、より専門的な立場から解説いただき、問題解決のために労使が果たすべき役割や改善の道筋について考えます。

■開催日時／2026年10月予定(午後3時間程度)

■対象／企業・労働組合・団体等の幹部、一般職員・社員

■会場／札幌市内ホテル

■参加費／■会員：無料 ■一般：5,500円(1名様・内税500円)

■これまでのメインテーマと講師陣(組織・役職名は当時のものです。)

- ・「日本の生産性運動70周年を迎え、生産性運動の軌跡を振り返り、持続可能な未来へつなぐ運動のあり方を考える」
／(公財)日本生産性本部 シニアフェロー 松川 昌義 氏
(公財)国際労働財団・(公社)教育文化協会 理事長 相原 康伸 氏
- ・「グローバルな視点から雇用・労働問題や労働力不足を考える～“2024年問題”の影響と今後の課題・対応～」
／ITUC(国際労働組合総連合)会長 郷野 晶子 氏
日本大学生産工学部 教授 博士(工学) 鈴木 邦成 氏
- ・「コロナ禍の時代を経て変容した社会・産業と労使を取り巻く環境
～“ウィズコロナ”時代の北海道産業の展望と持続的成長の実現に向け労使で挑む生産性改革～」
／地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事長 小高 咲 氏
全国労働組合生産性会議 副議長・情報産業労働組合連合会 中央執行委員長 安藤 京一 氏

